



高商 OGが母校で出前授業

令和4年11月26日
県立高田商業高校同窓会

令和4年11月18日、上越商工会議所青年部主催の「出前授業」が高田商業高校(科目:「総合的な探求の時間」)で開催され、講師として本校卒業生の齋木寛美(h6卒)さんが派遣され講演しました。

この出前授業は同会議所青年部商業振興委員会が主催する「上越を選択肢にする出前授業ー商人(あきんど)寺子屋塾」事業という活動で、同会々員や会員企業の新社会人らが、地元で働くことや仕事と生活のバランスなどについて体験を交えて語ることを趣旨とする講座です。

近年、上越市では若者層が高校卒業後に市外に流出することが課題となっています。こうした現状を踏まえ、市内の高校で上越で暮らすことの魅力や働くことの意義を伝え、将来市内企業に就職すること、或いは自身の夢を実現させるために自ら起業するなど、地元に向けてもらうための啓発活動の事業です。

講師の齋木さんは同会々員で、現在市内で「ネイル&エステ ラ・シュシュ/株 COMORE」を運営され、事業運営と併せて自らもネイリスト・エステティシャンとして第一線で活躍されています。

「自分の本気に会う。」という標題から始まった講演は、自身の体験と具体的な事例をもとに、プロジェクターを使いながらわかりやすい言葉で、体育館に集まった1年生に語り掛けました。未来を担う母校の後輩たちに、卒業後の進路選択についての激励・助言と、地元を愛する熱い思いを伝えて頂きました。

今日、みんなに伝えたいこと。

自分の本気に会う。

～ 自分の“本当の気持ち”を知る。～

